

(共通様式2)

## 運営推進会議等開催報告書

H30 年 8 月 28 日

事業所名	デイサービス ガリラヤ久米		
担当者	荒田 真紀	電話番号	970-9101
1 開催日時	平成 30 年 8 月 28 日 11:20 ~ 11:40		
2 開催場所	ガリラヤ久米 1F地域サロン		
3 出席者			
	3 人		(民生委員) (松山市介護保険課) (小野久米地域包括支援センター職員)
職員	3 人	佐々木 信也 高橋 雅志 荒田 真紀	愛隣園 理事長 施設長 デイサービス生活相談員
4 活動状況報告	別紙のとおり		
5 活動状況に関する評価			
	デイ利用者に対し、適切なプログラムを提供している。		
6 主な要望、助言等			
	①	今後も、レッドコードを継続してご利用者を元気にしてもらいたい。	
	②	トレーニングを実施して、運動機能が向上した事例を公表して欲しい。	
	③	レクリエーションのマンネリ化が出てきたら、介護レクリエーションの資格を取得し勉強したらどうだろうか	
	④	地域の方と連携を取ってデイサービスを運営して欲しい。	
	⑤	地域の方も、運動できる場所を提供して欲しい。	
	⑥		
	⑦		
7 要望、助言に対する考え方			
	①	継続して実施していきます。	
	②	改善事例を公表していきます。	
	③	レクリエーションがマンネリ化しないように、勉強していきます。	
	④	地域の方への運動等が出来る場所を提供出来るように検討していきます。	
	⑤		
	⑥		
	⑦		
8 その他特記事項			
	①	ご利用者が実際実施しているレッドコード2種類を映像にて鑑賞	
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		

## 運営推進会議等開催報告書

30年 8月 28日

事業所名	グループホーム ガリラヤ久米		
担当者	飛鷹 美知子	電話番号	970-9101
1 開催日時	平成 30年 8月 28日 10:00 ~ 11:10		
2 開催場所	ガリラヤ久米 3F多目的ルーム		
3 出席者			
(1)	8 人	グループホーム(家族) " 小規模特別養護老人ホーム(家族) " 民生委員 民生委員 松山市介護保険課 地域包括支援センター小野久米	
(2) 職員	7 人	佐々木 信也 愛隣園 理事長 高橋 雅志 施設長 飛鷹 美知子 グループホーム 管理者 上田 稔 グループホーム 計画作成担当者 二神 靖夫 小規模特別養護老人ホーム 生活相談員 和田 久美 小規模特別養護老人ホーム 看護主任補 森永 有美 小規模特別養護老人ホーム 介護主任補	
4 活動状況報告	別紙のとおり		
5 活動状況に関する評価			
	推進会議への家族の出席も多く、協力もある。外出や地域との交流の状況をみても運営状況は良いと感じた。		
6 主な要望、助言等			
①	季節感を感じるためにも外へ出たり、季節、地域の行事に参加し明るい笑顔で楽しまれていると感じた。脱水についてもゼリーでの取り組みや脱水での入院者がいないことから予防できていると感じる。		
②	施設での生活で、人によって暑い、寒いといったもめごとのようなことはないですか？		
③	ヒヤリハットが多く、提出しやすい書式になっていることがうかがえるが、次回からは内訳をいれてはどうか		
④	また、勉強会に身体拘束の委員会がないが実施できているかどうか		
⑤	母は若いときから皮膚が弱く、病院にいていたが、ここに来てから肌がつるつるして病院にかかることもなく喜んでいる。また、最近水分を自分からとらなくなってきたことを心配していたが、今日の説明を聞いて安心し		
⑥	母が転倒した時には迷惑を掛けたが、今は元気に楽しそうにしています。		
⑦	盆踊りへの参加など地域に根差していると感じた。また、家の近くであるというのは、それだけで安心です。また、スタッフの認知症の方に対する注意の仕方がとても穏やかで見ている気持ちがよく、安心できる。		
⑧	最初は急に施設に入ることになり不安だったが、今では表情も穏やかでいつも笑ってくれている。専門知識を持ったうえでケアをしてくれているからだと思う。		
⑨	季節の行事もあって、おだやかでくつろげる環境がある。外出して家に帰っても、施設に戻る時にはホテルだと思っていて、嫌がることなく帰っていきます。		
7 要望、助言に対する考え方			
②	利用者の過ごす共有スペースは基本設定(27℃)にしています。また、場所に応じて、オンオフを使いわけたり、調整をしています。部屋は全室個室であるので、居室の温度はそれぞれ設定が可能となっています。		
③	次回からはヒヤリハット内訳を記載するようにします。		
8 その他特記事項			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度事業活動報告配布。</li> <li>台風、豪雨に関して(説明者:施設長)。施設被害はなし。施設からの支援として水を支援。利用者受入については、当施設が個室であり、満床のため受入不可であった。</li> <li>また、施設では北久米窪田地区の町内会長と防災協定を締結し、地域との協力を努めている。</li> <li>脱水について(説明者:施設長)</li> </ul>		

運営推進会議等開催報告書

30年 8月 28日

事業所名	小規模特別養護老人ホーム ガリラヤ久米		
担当者	二神 靖夫	電話番号	970-9101

1 開催日時	平成 30年 8月 28日 10:00 ~ 11:10
--------	-----------------------------

2 開催場所	ガリラヤ久米 3F多目的ルーム
--------	-----------------

3 出席者		
(1)		グループホーム(家族)
8 人		〃
		小規模特別養護老人ホーム(家族)
		〃
		民生委員
		民生委員
		松山市介護保険課
		地域包括支援センター小野久米
(2) 職員	佐々木 信也	愛隣園 理事長
7 人	高橋 雅志	施設長
	飛鷹 美知子	グループホーム 管理者
	上田 稔	グループホーム 計画作成担当者
	二神 靖夫	小規模特別養護老人ホーム 生活相談員
	和田 久美	小規模特別養護老人ホーム 看護主任補
	森永 有美	小規模特別養護老人ホーム 介護主任補

4 活動状況報告	別紙のとおり
----------	--------

5 活動状況に関する評価	
	推進会議への家族の出席も多く、協力もある。外出や地域との交流の状況をみても運営状況は良いと感じた。

6 主な要望、助言等	
①	季節感を感じるためにも外へ出たり、季節、地域の行事に参加し明るい笑顔で楽しまれていると感じた。脱水についてもゼリーでの取り組みや脱水での入院者がいないことから予防できていると感じる。
②	施設での生活で、人によって暑い、寒いといったもめごとのようなことはないですか？
③	ヒヤリハットが多く、提出しやすい書式になっていることがうかがえるが、次回からは内訳をいれてはどうか
④	また、勉強会に身体拘束の委員会がないが実施できているかどうか
⑤	母は若いときから皮膚が弱く、病院にいらっていたが、ここに来てから肌がつるつるして病院にかかることもなく喜んでいる。また、最近水分を自分からとらなくなってきたことを心配していたが、今日の説明を聞いて安心し
⑥	母が転倒した時には迷惑を掛けたが、今は元気に楽しそうにしています。
⑦	盆踊りへの参加など地域に根差していると感じた。また、家の近くであるというのは、それだけで安心です。また、スタッフの認知症の方に対する注意の仕方がとても穏やかで見ている気持ちがよく、安心できる。
⑧	最初は急に施設に入ることになり不安だったが、今では表情も穏やかでいつも笑ってくれている。専門知識を持ったうえでケアをしてきているからだと思う。
	季節の行事もあって、おだやかでくつろげる環境がある。外出して家に帰っても、施設に戻る時にはホテルだと思っていて、嫌がることなく帰っていきます。

7 要望、助言に対する考え方	
②	利用者の過ごす共有スペースは基本設定(27℃)にしています。また、場所に応じて、オンオフを使いわけたり、調整をしています。部屋は全室個室であるので、居室の温度はそれぞれ設定が可能となっています。
③	次回からはヒヤリハット内訳を記載するようにします。

8 その他特記事項	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度事業活動報告配布。</li> <li>台風、豪雨に関して(説明者:施設長)。施設被害はなし。施設からの支援として水を支援。利用者受入については、当施設が個室であり、満床のため受入不可であった。また、施設では北久米窪田地区の町内会長と防災協定を締結し、地域との協力を努めている。</li> <li>脱水について(説明者:施設長)</li> </ul>